



タイトル	続々13億人の環境教育
氏名(所属)	岩松 洋 (京エコロジーセンター)
ホームページ	http://www.miyako-eco.jp http://www.zhb.gov.cn/japan/index.htm
キーワード	中国の環境教育、拠点づくり、人材育成、国際協力
アピール文	今や中国の環境問題は、日本にダイレクトに影響を及ぼす問題となってきています。世界人口の6分の1に当たる人たちの環境意識の向上……。オカタイ場所ではよう言わん、ちょっと、いや、結構砕いた中国の生の環境教育事情ここにアリです！！
要旨	<p>2008年10月から5カ年計画で、独立行政法人国際協力機構（JICA）が中華人民共和国国家環境保護部（日本の環境省に当たる組織）に協力する形で「循環型経済推進プロジェクト」がスタートした。プロジェクトは4つのサブプロジェクトから構成され、その一つに「国民の環境意識の向上」がある。この中で、中国における環境教育・人材育成の拠点施設を北京市に建設する計画があり、そのモデルとして京エコロジーセンターが選ばれ、2008年11月から関わっている。</p> <p>拠点施設の計画は、当初の予定から大幅に遅れ、未だ着工できずにいるものの、今年の日中国交正常化40周年に合わせ、必ずオープンするというので、ここへきてやっとスイッチが入ってきた。</p> <p>拠点施設には、展示物等を備えた啓発施設の役割を持たせる他に、地方政府の環境教育担当者の横の繋がりを生み出したり、情報共有を図ったり、スキルアップを担う等の役割を想定している。その中で、スキルアップに関しては、施設の計画と同時進行で進めており、年に2～3回のペースで地方都市にてセミナーを実施してきた。セミナーには、中国各省から環境教育（中国では宣伝教育という）担当者が集まり、地方の事例発表があったり、中国の研究者による環境教育の解釈が聞けたり、現場の生の声が聞けたりするため、絶好の情報収集の機会となっている。</p> <p>今回の発表では、7月に青海省で開催されたセミナーで得た情報を中心に、発表者の極めて主観的な中国環境教育考を写真を交えながら、スライドショー的に発表したいと思います。</p> <p>この写真は、本編とは関係あるかもしれませんが、無いかもしれません</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

●京都・環境教育ミーティング 事例紹介エントリーシート●

※以上の内容は、京エコロジーセンターのホームページで公開されています。